ななだより

2007 AUG
vol.8

宮崎公立大学同窓会会報
MIYAZAKI MUNICIPAL UNIVERSITY

Contents

挨拶 …… 2
ホームカミングディのお知らせ …… 3
懐かしの写真集 …… 4
平成18年度　卒業式＆入会式 …… 5
恩師からのメッセージ …… 5
公立大学法人　宮崎公立大学誕生！ …… 5
近況報告リレー …… 6
活躍する部活動 …… 6
新会員紹介 …… 6
公開講座受講生募集 …… 7
報告　「白い家」から「みんなの家」に!! …… 7
会計報告 …… 7
大学を去られた先生方 …… 8
役員一覧 …… 8
役員より一言 …… 8
会費納入のお願い …… 8
編集後記 …… 8

会長挨拶

宮崎公立大学同窓会なな会
会長　山口　充修

昨年11月より第2代の同窓会会長になりました山口です。二期生で、学生時代はサーフィン部に所属し、ほぼ毎日波に乗っていました。現在は宮崎県立宮崎北高等学校で英語教師をしております。

宮崎公立大学も法人となり、同窓会としても今まで以上に「大学のため、学生のため、そして我々同窓生のため」をモットーに連携を強化していこうと思っています。また、今年度は同窓会設立10年目という節目であり、10月には大々的に同窓会総会を開きたいと考えています。さらに、できれば業種別同窓会なども開けたらなとも考えています（例えば教職関係者の同窓会等）ので、今後とも同窓会をよろしくお願いします。

学長挨拶

宮崎公立大学
学長　中別府　温和

同窓会と聞くと、私は寺田寅彦のとても短い作品を想い出します。ある日、となりの部屋から若やいだ話し声が聞こえてくると、寺田はそれを若い10代の女子たちの談笑だと聞き取る。しかし、帰りがけに、開け放したその別室をのぞくと、そこは30前後の女性たちの同窓会であったという筋です（『柿の種』）。同じ学校で学び合うことが、どんなに豊かな影響を私たちに与えているのか。この小品は見事に活写していると思います。

なな会は由緒あるとてもいい名前の同窓の集いです。この会は、初代の会長と仲間たちの大学への敬愛ならびに彼らの勇気と根気で誕生し、育まれてきました。その途のりを忘れないかぎり、10年30年と時が過ぎても、なな会は卒業生をぐいと船塚に連れもどし、寺田が見聞きしたように、今とは違う新しい世界でふたたび共感させることでしょう。

理事長挨拶

公立大学法人　宮崎公立大学
理事長　内藤　泰夫

主体的に学ぶ、主体的に働く、今の社会で求められているもの、それはあらゆる場で創意工夫を生かして積極的に活動できる能力を身につけることだと思います。

４月から公立大学法人宮崎公立大学に理事長として仲間に入れていただき、学生さんの姿勢を見ていますが、学問を学びとる姿、主体的に活動しようとする姿を多く見ることができ、大変うれしく思っています。

卒業され、社会で活躍している方々も、生きた社会の中で、公立大で身につけた教養をフルに生かして活動されているものと思います。先輩、後輩が形式だけでなく、真につながっている同窓会は、なによりも強いといわれます。主体的で、積極的な宮崎公立大学同窓会として発展するよう祈念いたします。

母校へ帰っておいでよ

10月7日は、ホームカミングディ!!

宮崎公立大学同窓会なな会の**創立10周年**を記念して『ホームカミングディ』を開きます。
『ホームカミングディ』とは、MMUの卒業生だけを対象に、母校、宮崎公立大学に帰ってきてもらい、
大学生活を再び懐かしみ、楽しんでもらおうという卒業生の為だけの特別な日です！

日 時 平成19年10月7日(日)

時 間 学内ツアー 14:30～15:00(学生食堂前集合)
ミ ニ 講 義 15:20～17:20(103大講義室)
総会・懇親会 18:00～20:00(学生食堂)

懇親会参加予定教員 中別府温和学長、田中宏明先生、川瀬隆千先生、新井克弥先生、戸高裕一先生、倉真一先生、四方由美先生ほか

学 内 ツ ア ー 最近新しくできた施設(凌雲会館、みんなの家等)を中心に見学します!

ミ ニ 講 義 なんと、曷昭吉先生も東京から駆けつけて下さいます!!
(H5～H17 宮崎公立大学教授　H18～実践女子大学教授)

1時間目(15:30～16:00)

川瀬　隆千 先生

講義名　卒業生限定！今だから言える！遠距離恋愛は本当に続かないのか？

2時間目(16:10～16:40)

四方　由美 先生

講義名　社会人のためのジェンダー論

3時間目(16:50～17:20)

曷　昭吉 先生

講義名　手相と宮崎県

先着 200 名に、なな会オリジナル記念品を贈呈します!

申込締切

H19年8月31日(金)までに、同封の参加申し込みハガキに記入をして送付して下さい。

託児所も設けていますので、
是非お子様と一緒に参加して下さい
(託児希望の方は、(0985) 20-4844 または iguchi@miyazaki-mu.ac.jp までご連絡下さい)

総会案内	総会については、ホームカミングディと同日、18：00 より行います。

懐かしの写真集

平成18年度　卒業式＆入会式

平成19年3月23日に、宮崎公立大学第11期生（183名）が卒業を迎えました。卒業式が行われた後、同窓会なな会への入会式が行われました。同窓会について学務課長から説明があり、その後、同窓会会長から新会員に向けて「これから一緒に同窓会を充実発展させていきましょう」と意気込みを込めたあいさつがありました。

恩師からのメッセージ

内嶋　善兵衛 先生

日本経済活動の混乱と世界潮流の変化とによって生じた1990年代のバブル崩壊は、公立大学の卒業生の社会活動と生き方に大きな影響を与えたと思う。

しかし、多くの卒業生が自らの信ずる所にしたがって活動し、すでに職場の中堅として働いている。これは４年間の大学生活で獲得した知の技術と生き方の知恵に負う所が大きいものと思っている。しかし、世界経済と地球環境そして地球生態系の変化・劣化は想像以上に大きく、これからCO2放出量二分の一カット社会へと急速にシフトするだろう。このシフトの成否は、人類だけでなく地球上に生きる全生物群の生存保障問題に直結している。二分の一カット社会へのシフトがどのような政策そして経路でなされるのかは、これからの議題であるが、今に生き働いている世代は社会的にも私的にも全面的に関与せざるをえない。

人間だけの物質的欲望のままに発達してきた現在の科学技術文明と二分の一カット社会とは多くの面で異質であろうが、それへの軟着陸以外に途は無い。それに正しく対処するには新しい知の技術の習得と新しい生き方の追求とが絶え間なく求められる。公立大学の卒業生は大学での教育を通じて、その力と情熱とを体得し秘めていると信じている。

内嶋先生は現在宮崎市内で研究や論文執筆活動をされています。（右は源嶋副会長：１期生）

公立大学法人　宮崎公立大学誕生！

宮崎公立大学の運営は、これまで１市３町（宮崎市、清武町、国富町、綾町）からなる宮崎公立大学事務組合で行っていましたが、平成19年４月１日から新たに公立大学法人宮崎公立大学を設立し、大学運営を行うこととなりました。

同法人では、内藤泰夫理事長･中別府温和学長（副理事長）の新体制のもとで、迅速性・計画性・柔軟性という法人化のメリットを生かし、教育研究の活性化や地域貢献などに積極的に取り組み、地域に根ざし、地域に愛され、地域に開かれた宮崎公立大学となるよう大学運営を行っていきます。また、今後６年間の法人としての計画をまとめた中期計画の中では、同窓会との繋がりを一層強化することがうたわれています。

宮崎公立大学同窓会も創立10周年を迎え、会員数約2,200名という大きな組織となりました。今年度からは初めての取組として、ホームカミングデーという卒業生の為の事業を大学の協力をいただきながら実施することとなりました。今後はホームページを充実させることにより、遠隔地の会員との繋がりも強化していくことを目指しています。同窓会ならではの人的ネットワークを広げることにより、母校の良き理解者、また応援団として、母校の発展の為に協力していきましょう。

近況報告リレー

１期生
濱田　雄志さん

なな会 会員の皆様、こんにちは。私は現在、東京都内の電機メーカー系クレジットカード会社の本社営業推進部において営業企画・推進などの仕事をしています。卒業後、宮崎を離れて早１０年が経ち、そのほとんどの期間は大阪の事業所で営業担当をしておりましたが、学生時代（玉木ゼミ）の「丸平」他における修行の成果、また「宮崎うんちく」で営業ネタには事欠くことなく楽しいサラリーマン生活を過ごしてきました。（体重も増えましたが）現在は宮崎から遠く離れ、母校や「第２の故郷」宮崎にふれる機会も少なくなってはいますが、今後も何かの機会で宮崎に関する仕事や活動に参加し、その発展に微力ながらも寄与できればと考えております。東国原知事とまではいきませんが「宮崎のセールスマンJr.」を実践していくつもりです。　全国のなな会の皆様も是非一緒に「Jr.」やりましょう！それでは同窓会で元気な皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

１期生
吉田　朋弘さん

こんにちは！　第一期卒業生の吉田朋弘です。現在、住金物産㈱という商社の繊維カンパニーに勤務しており、東京暮らしも今年で11年目、早いものです。

大手アパレル向けに世界を飛び回りファッションビジネスを手掛ける商社マン！と言えば聞こえは良いですが、実際は気力と体力勝負の厳しい世界、好きでなければやってこられなかった10年でした。

思えば、世間知らずだった学生時代、宮崎を飛び出し上京し「アポなし飛び込み」という無謀な就職活動を始め、何社も廻りながら決めた第一志望の会社だからこそ、ここまでやってこられたかなという気がしています。（あの頃はしんどかったけど毎日充実していて楽しかった！）

4年間の倍以上を社会人になって過ごして来ましたが、今振り返ってみると、貴重な経験をした大学時代の思い出はやがて人生のかけがえの無いものになるんだな、とそんな気が10年経ってしています。

現役 活躍する部活 男子バレー部

私たち、男子バレー部は四年生２名、三年生４名、二年生４名、一年生１名の計11名と少ない部員で活動しています。私たちは、毎年、主に宮崎県大学春季バレーボール選手権大会、同秋季大会や九州大学春季バレーボール大会、同秋季大会に参加しています。そして、ここ近年では部員にも恵まれ、平成17年度宮崎県大学春季バレーボール選手権大会、平成18年度宮崎県大学春季バレーボール選手権大会、平成18年度同秋季大会にて優勝することが出来ました。また、今年の平成19年度九州大学春季バレーボール大会では、六部から五部へと昇格しました。
これから、さらに精進し、県大会での優勝、九州リーグ大会で四部への昇格を目指して行こうと考えています。　（4年・岡田章成）

新会員紹介

11期生
田﨑　勇貴さん

宮崎公立大学での4年間は本当に様々なことを経験できたかけがえのない4年間でした。

入学時の夢は福祉に貢献したいという漠然としたものでしたが、公立大で多様な講義を受け、学生同士の交流等の経験を経て、明確な目標を見い出すことができました。その結果、障がい者にも使い易いeラーニングシステムの開発を卒論研究課題とし取り組みました。ICTを習得しそれを障がい者の学習環境の向上に繋げることが今の私の大きな目標となっており、卒業した今でも研究開発に携わっています。

大学生活では多くの皆様のご支援とご協力をいただきました。お世話になった皆様と大学に恩返しができるようこれから少しでも貢献できたらと思っています。同窓会の諸先輩の皆様方どうぞよろしくお願いいたします。

宮崎公立大学公開講座受講生募集

テーマ「未来への提言」 ―10年後の宮崎を展望する―

期間：10月5日～12月14日の毎週金曜日（10/26、11/2、11/23は除く）
時間：午後7時～午後8時半（初回と最終回は午後８時45分まで）
会場・定員：103大講義室・100人
受講料：2,000円（テキスト代含む）
申込み・問合せ：往復はがきに郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書いて8月31日（金・必着）までに、宮崎公立大学企画総務課公開講座担当宛（〒880-8520、住所不要、TEL 0985-20-2000）へ。多い時は抽選。
○6回以上出席した人には、修了証を交付します。

月日	テーマ・内容	講師
10/5(金)	災害史に学ぶ	准教授　大賀　郁夫
10/19(金)	男性から女性への政権交代	教授　山口　裕司
11/9(金)	分権化の時代の地方自治と議会	准教授　有馬　晋作
11/16(金)	地域から世界へ	准教授　堀口　正
11/30(金)	情報技術（ICT）を地域でどう生かしていくか、生かせるか	准教授　辻　利則
12/7(金)	「学力低下」と「生きる力」の現状と課題	教授　加藤　厚
12/14(金)	シンポジウム「メディアが見た宮崎」	教授　野中　博史

報告 「白い家」から「みんなの家」に!!

当時の白い家

長年、卒業生たちも慣れ親しみ、作業場として利用していた一軒家「白い家」が、老朽化のため平成17年末に解体され、新しく軽量鉄骨平屋建の「作業棟」として生まれ変わりました。この建物は、主に凌雲祭等での装飾物などの創作活動を行う場所として、大学後援会が370万円をかけて建設し、平成18年7月末に完成。名称は在学生に公募した結果、「みんなの家」と決定しました。これからまた学生たちが、「みんなの家」を囲んで先輩方のあとを引継ぎ新しい歴史を刻んでいくことでしょう。なお、この建物は後援会より大学へ寄附され、今後は大学事務局が管理することとなっています。

現在のみんなの家

会計報告

平成18年度　同窓会なな会　決算案

1．歳　入　（単位：円）

項　目	予　算　額	収入済額	増減額	摘　要
前年度繰越金	2,000,000	4,672,159	2,672,159	
会費	200,000	204,000	4,000	13名分（卒業生）
入会金	4,000,000	4,100,000	100,000	@20,000×205名（新入生）
雑入	100	2,823	2,723	利息
合計	6,200,100	8,978,982	2,778,882	

2．歳　出　（単位：円）

項　目	予　算　額	支出済額	不用額	摘　要
人件費	420,000	600,713	△ 180,713	事務局事務員手当
需用費	100,000	152,583	△ 52,583	通信費・消耗品・手数料等
委託費	1,500,000	695,210	804,790	アンケート、名簿作成料等
設備費	200,000	9,113	190,887	パソコンリース料負担金等
親睦会補助費	200,000	96,761	103,239	親睦会開催費
学生活動補助費	300,000	300,000	0	大学祭補助費
役員手当	120,000	64,000	56,000	手当等
役員通信費	10,000	0	10,000	
諸活動費	200,000	0	200,000	
繰出金	1,800,000	1,800,000	0	特別会計へ
予備費	1,350,100	244,020	1,106,080	
合計	6,200,100	3,962,400	2,237,700	

・歳入額　8,978,982円－歳出額　3,962,400円＝5,016,582円（繰越金）
・同窓会準備金　残高　　15,475,992円

平成19年度　同窓会なな会　予算

1．歳　入　（単位：円）

項　目	予　算　額
前年度繰越金	4,000,000
会費	200,000
入会金	4,000,000
雑入	100
合計	8,200,100

2．歳　出　（単位：円）

項　目	予　算　額
人件費	720,000
需用費	150,000
委託費	1,500,000
設備費	400,000
親睦会補助費	300,000
学生活動補助費	300,000
役員手当	120,000
役員通信費	10,000
諸活動費	200,000
繰出金	1,800,000
予備費	2,700,100
合計	8,200,100

※平成18年度総会にて承認済み
・同窓会準備金予算　17,273,711円

■大学を去られた先生方

平成8年3月31日	信森　廣光教授
平成9年3月31日	平嶋　義宏教授（初代学長）
〃	荒木　博之教授（平成11年12月逝去）
〃	スタンレイ・デイビス講師
平成10年3月31日	山本　展男教授
〃	佐藤　一義講師
平成11年3月31日	江上　芳郎教授
〃	峰尾　一路教授
平成12年3月31日	南　　諭子講師
平成13年2月28日	崔　　仁宅助教授
平成13年3月31日	高司　正夫教授
平成14年3月31日	菊住　昌一教授（平成18年12月逝去）
〃	森薗　英輔教授

平成14年3月31日	奥野　正男教授
平成15年3月31日	内嶋　善兵衛教授（２代目学長）
〃	笹谷　　孝教授
〃	友杉　　孝教授
平成17年3月31日	疊　　昭吉教授
〃	玉木　徹志教授
〃	村上　忠良講師
平成18年3月31日	田中　　薫教授
平成19年3月31日	浜野　崇好教授（３代目学長）
〃	マリリン・ブックス教授
〃	王　　智新教授
〃	下　　絵津子講師
平成19年4月	川又　祥平助教授（逝去）

■役員一覧

職　名	氏　　名	卒期
会　長	山口　充修	２期生
副会長	源嶋　りさ	１期生
〃	河野　賢太郎	２期生
〃	清家　啓史	２期生
〃	益田　浩志	３期生
〃	佐藤　高志	４期生
総　務	新名　千恵	５期生

職　名	氏　　名	卒期
〃	肥田木　洋之	６期生
〃	坂元　涼子	７期生
〃	田中　裕紀	５期生
総　務	中竹　仁	８期生
〃	勝家　伸男	９期生
〃	木前　謙司	10期生
〃	下登　由香	10期生

職　名	氏　　名	卒期
〃	野中　亜希子	10期生
〃	後藤　彩	11期生
〃	長濱　初菜	11期生
〃	矢野　智恵子	11期生
監　事	小山　夕貴子	４期生
〃	秋山　彩子	５期生

役員より一言

10期生
木前　謙司さん

こんにちは、10期生の役員です。宮崎市に就職した私は、職場が大学のすぐ近くということもあり　いつも大学の横を通り、懐かしい思い出に浸りながら職場に向かっています。そんな私は、先日、１年ぶりに宮崎を離れ同級生達に会ってきました。久しぶりに会う仲間と思い出話をし、大学の話でつきることはありませんでした。その後、いろんな卒業生と会う機会がありましたが、みんな大学を忘れず誇りに思っていると感じました。

大学を忘れず、誇りに思っている卒業生は大勢います。そこで、せっかく宮崎にいる私は、その思いを無駄にせず卒業生と大学とを繋ぐことができないかと思い同窓会の役員として活動しています。そこでは、卒業生に母校に帰ってきてもらう「ホームカミングデー」という企画を考えています。皆さん、是非懐かしい母校へ仲間達と一緒に遊びにきてください。

1～6期生へ、会費納入のお願い

宮崎公立大学は、今春15回生を迎え、卒業生も2千人を越えました。同窓会は今後、会報の発行や、ホームページの作成などの事業を行っていく予定です。同窓会費は、同窓会とこれらの事業の唯一の財源です。卒業生の皆様には同窓会費2万円を頂いていますが、1～6期生においては、卒業時に2千円を払って頂いた以降、完納されている方が、いまだ少ないのが現状です。少しでも納入率を挙げるため、今回、振込用紙を同封いたしましたので、お手数とは存じますが、会費納入をお願い致します。

残金においては、振込用紙に記しておりますので、ご確認下さい。なお、完納されている方にはこの旨の用紙は入れておりません。

編集後記

会報は、８号になりました。同窓会も創立10周年という節目を迎え、今回内容を一新し、過去の一枚形式からカタログブック形式に刷新いたしました。

宮崎公立大学は今年から独立行政法人化し、今後ますます大学も発展していくことと思います。同窓会なな会もこれからますます充実・発展をしていこう、と役員会の度に役員の皆で話しています。是非、卒業生皆様の意見を参考に更に充実した同窓会にしたいと思っていますので、意見や案などがあれば右記にどうぞ。また、近いうちにホームページも一新し更新していく予定です。今後ＯＧでの集まりをお知らせしたい等の要望もお受けしますので、どうぞ事務局宛にご連絡下さい。

なな会　事務局職員　井口奈苗（10期生）

なな会だより in MMU

2007 AUG | vol.8

発行者：宮崎公立大学同窓会「なな会」
〒880-8520　宮崎市船塚1-1-2
TEL：０９８５－２０－４８４４
FAX：０９８５－２０－４８４５
E-mail：iguchi@miyazaki-mu.ac.jp
印刷：小野高速印刷㈱